

診断京都

社団法人 中小企業診断協会京都支部

No.99
2012年 春号



2012年新年支部特別研修会 & 新年祝賀会開催

平成24年1月13日（金）、京都駅八条口「新・都ホテル」において中小企業診断協会京都支部の2012年支部特別研修会ならびに新年祝賀会が開催されました。

支部特別研修会では、今年度の調査研究事業の成果発表として「中小企業（農林水産業含む）における受注および販売の促進活動に関する調査研究」の内容に関する講義が行われました。講義では、京都府内企業の調査（アンケート回答約400社、訪問13社）全体についての分析結果を報告するとともに、人的販売、店舗・イベント、パブリシティ・広告、インターネット利用、海外展開の各分野について調査・研究メンバーが解説しました。参加会員は手元の報告書を読みながら熱心



に聴講、質問をしていました。

新年祝賀会では、山本知美理事の司会により山脇支部長の開会あいさつや多くのご来賓の方々からの祝辞および激励



等を頂きました。中小企業を取り巻く環境は引き続き厳しい年となりそうですが、新法人設立年度に賭ける参加会員の熱意が伝わってくる懇親会となりました。特に半ば頃の新入会員紹介では、多彩なやる気にあふれた会員診断士のトークに会場が沸き立つなど、盛況な新年会という印象を受けました。
(渡邊文恵)



第2回京都支部主催交流セミナー開催

12月4日(日)、京都四条室町の産業会館7階の会議室にて、15時から第2回の京都支部主催交流セミナーが行われました。この交流セミナーは昨年度から始まった催しで、非会員や他府県支部の企業内診断士の方を主な対象にして開催しています。企業内診断士の方が参加者のほとんどで、講師から独立開業に向けたいろいろな準備や開業後の運営ノウハウを提供することを目的にしています。今年度は昨年度と同じ講師の顔ぶれですが

第1部：山脇 康彦(京都支部支部長、組合理事長)……診断士を業として継続する上で大切なこと必要なこと

第2部：成岡 秀夫(常任理事、組合専務理事)……開業までの必須準備と開業後の運営実態の内容で、それぞれ1時間お話しをしました。

参加者は合計15名。非会員の方、大阪支部所属の方、最近他府県支部から転籍された方、京都支部の方、いろいろでした。そのほとんどの方は企業内診断士です。それぞれ診断士資格取得の目的も違うと思いますが、



熱心に2時間聞いていただきました。独立開業に向けては、結構準備が必要だし、大事なことがたくさんあるんだということを実感されたと思います。

終了後ほとんどの方が二次会の懇親会に参加。やはり2時間の飲み放題プランをしっかりと元を取った方がほとんどでした。

講師2名が共通のキーワードで申し上げたのは「人脈作り」。それも急には出来ません。今からしっかり目標を定め、少しずつ期限を定めてやるしかありません。次に重要なのは「強み・特徴」です。何でも出来るというのは特徴がないということと同意語です。何かに尖ること。それが大事です。〇〇といえば●●さんだよ、というフレーズが自然にみんなの口から出てくれば本物です。そのためには、今からしっかり準備をしておかなくてはいけません。刺激的な内容もありましたが、それなりに意識が高まり、モチベーションが上がった交流セミナーとなりました。

平成24年度も開催の予定です。(成岡秀夫)



京都府優良組合表彰式

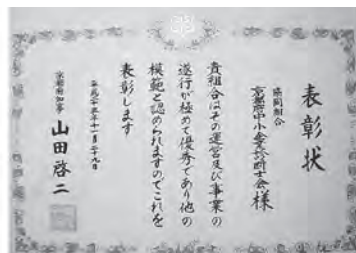
11月29日(火)15時から京都ガーデンパレスにて、平成23年度中小企業関係定例表彰式があり当協同組合京都府中小企業診断士会が表彰されました。組合発足10年以上経過し、毎年の活動に対し京都府からお褒めの言葉をいただき、表彰状と立派な盾をいただきました。表彰状と盾は組合事務所に飾ってありますので、一度ご覧ください。

当日は組合理事長の山脇、専務理事の成岡お

よび組合設立に尽力いただいた大先輩の品川、岸田、安田各氏にも出席いただきました。表彰式のあと京都府知事からお祝いの言葉をいただき、別室で記念撮影をしました。当日の様子は掲載の写真をご覧ください。

今回は優良組合として、当組合以外にも数件の表彰がありました。次の表彰に向けて頑張りたいと思います。

(成岡秀夫)



Web2.0研究会

我が国でインターネットが本格的に活用され出したのは、Windows95が普及し始めた1995年頃からです。当時は、電話回線を使うなど通信環境も悪かったですが、近年では光回線が主流になり動画や音声などを含むコンテンツも多く登場しています。また、当時ホームページ等は企業が制作し個人の利用は限られていましたが、数年前からblogが登場し、個人での情報発信も盛んになってきました。ちょうどその頃に、従来から一步進んだWeb活用という意味で、「Web2.0」という言葉も使われ始めました。そして、中小企業でもホームページやblogを活用して、自社の製品やサービスの情報を発信することで、新規受注などを獲得できるようになってきたのです。

このような背景の中、Web2.0研究会は中小企業がホームページやblogを活用し効果を出すためにはどのような情報を発信すればいいか、Webを活用するためにはどのような知識やノウハウが必要かを研究する為に3年前に立ち上げた一般研究会です。現在、12名で活動しています。

具体的な活動内容として、会員有志がオリジナルのblog（京都の中小企業診断士blog）を立

ち上げ、診断士活動や自身の考えなどを記事投稿し、どのような記事に関心が集まるか、どのような記事が問い合わせに繋がるかなどを研究しています。現在では、記事投稿数も100も超えSEO対策効果も出てきました。また、最近はソーシャルメディアが注目されており、本研究会でもblogに「いいねボタン」を設置し、facebookとblogを連携させ投稿記事の有効性などを研究しています。24年度も引き続き、facebookとblogを連携させて、中小企業に有効なコンテンツ内容やどのように情報が拡散するかなどを研究していきます。本研究会の活動に興味のある方は、ぜひご参加ください。なお、Web2.0という言葉も最近は聞かれなくなってきたため、24年度からは研究会名称を「ソーシャルメディア研究会」に変更し、活動を行っていく予定です。

（坂田岳史）



経営革新支援研究会

皆さん、こんにちは。経営革新支援研究会を担当しております岡原です。お忙しい中、いつもご参加いただき、ありがとうございます。経営革新支援研究会は、支部会員の皆さまのお役に立てる情報発信や人脈形成、さらには会員相互の交流や支部・組合の業務拡大を目的に勉強会を行っています。

今年1月に開催した研究会は、京都文教大学産業メンタルヘルス研究所の川畑直人教授にお越しいただき、「米国組織コンサルテーションの考え方と手法～心理学を生かした組織開発～」というテーマでお話しいただきました。産業メンタルヘルス研究所は、職場のメンタルヘルスに関する調査研究や臨床心理士の養成プログラムの実施、アメリカで活躍する組織開発コンサルタントとの組織開発の研究などの活動をされています。今回の研究会では、アメリカの組織開発コンサルタントのコンサルティング事例などをお話しいただき、最後には中小企業診断士と臨床心理士とのコラボレーションは可能かという投げかけをしていただきました。終了

後の交流会には8名の支部会員が参加して川畑教授と共に大変盛り上がり、川畑教授に弟子入りする？というほどの会員さんもいました。今回の研究会をきっかけに24年度は京都支部と産業メンタルヘルス研究所と連携し、勉強会の開催や組織開発に関する研究会を実施する予定になっています。勉強会の詳細が決まりましたら、皆さまにMLでご連絡しますので、楽しみにお待ちしております。

研究会の開催日等は、原則として**第2水曜日の18:30**から行っています。24年度は企業内診断士の方がより参加しやすい土曜日開催も視野に入れて企画を進めております。支部会員の皆さまの人脈形成のきっかけの場として、また最新情報収集の場としてご活用いただけるよう、さらに知恵を絞っていきたいと思います。

是非、支部会員の皆さまの積極的なご参加を心よりお待ちしております。

企画メンバー：岡原慶高、松野修典、坂田岳史
（岡原慶高）

BCP（事業継続計画）策定セミナー受講者の声

財団法人京都高度技術研究所の主催するBCP（事業継続計画）策定セミナーに参加された受講者2社から、セミナーについての感想を寄稿頂きました。

ヤマナカヒューテック株式会社

取締役 製造部長 弥富 英紀

弊社は、半導体、太陽電池、LED、光ファイバーで使用される材料（高純度化学薬品）を製造販売している会社です。

弊社の製品は半導体の特性に大きく影響を与えるもので、製品の品質はもとより安定的な供給を行うことが顧客との取引の必須条件となっています。昨年の東日本大震災以降、緊急時の事業継続計画（BCP）について顧客からの要望も多くなり、BCPを策定して不測の事態に供え事業継続することが供給者の責任と考え、今回のBCP策定セミナーに参加しました。

以前は緊急時対応計画（IMP）とBCPを同じようなものと考えていましたが、セミナーに参加して違いを認識することができました。また、当社の中核事業を深く知ることにより事業継続における問題点を洗い出すこともできました。

今年1月にBCPを制定することができました

が、内容はまだ十分ではありません。今後弊社では、BCPをISOと同じ様にPDCAサイクルを用いて内容の充実を図って行きたいと考えています。

今回のセミナー主催者の財団法人京都高度技術研究所並びに講師としてご指導頂きました中小企業診断士協会の中村様、大堀様、小山様には感謝申し上げます。

<会社概要>

ヤマナカヒューテック株式会社

代表者名：代表取締役社長 森脇 健

設立年月日：昭和42年11月01日

資本金：7470万円

事業内容：CVD材料製造販売、半導体ドーピング材料製造販売、光ファイバー材料製造販売、半導体関連装置の製造販売、センサー用埋込ガラス電極の製造、新材料開発、MEMS関連技術

URL：<http://hutech-web.com/>



大東寝具工業株式会社

代表取締役 大東 利幸

1) BCP策定の動機

我々自身が被災状況に置かれた際、どうなるのか？とは誰もが思うところ。そんな中、BCPなるものを知る。初めは全く知識がなかったが、事業継続という名の通り、被災時にそれが可能になるのなら、という思いで京都高度技術研究所主催のBCPセミナーに参加したのがきっかけである。

2) BCP策定で感じたこと苦心したこと

最初は何に的を絞れば良いのか判らない。BCP策定の進め方を理解する必要があった。被災の状況はあくまで想定であるし、中核事業決定とその対策にしても、机上で色々と想定、予測し過ぎてしまい、なかなか計画策定が前進しなかった。結局、ここでも普段の事業と同様に、「選択と集中」ということが必要である。



策定をして初めて判っ

たことは、想定や対策を文書にすることで視える化ができる。進めれば進めるほどBCPの必要性を感じた。また、中小企業はKES導入、取り組みも大切ではあるが、むしろBCP策定を優先的に行うべきである。

3) 今後に向けて

現状の第一版はあくまでもベースの机上計画であるという位置から運用を始め、まず社内共有を深め、種々のことを想定しながら実質的な訓練や準備を普段から行い、備えを継続していきたい。

<会社概要>

大東寝具工業株式会社

代表者名：代表取締役 大東 利幸

創業：大正14年11月

設立：昭和38年9月20日

資本金：1000万円

事業内容：寝具・寝装品・ホームファッション事業、住宅リフォーム・建装・インテリア事業、眠りの支援事業

URL：<http://www.daitoushingu.com/>



調査・研究事業 無料公開セミナーの実施

平成23年度の調査・研究事業として取り組んで来た「中小企業（農林水産業含む）における受注および販売の促進活動に関する調査研究」のまとめとして、無料公開セミナーを平成24年2月15日

（水）に実施しました。調査研究結果を市民や事業者の皆様に公開するもので、ひと・まち交流館京都の一室を会場に少数ながら熱心な受講者を迎えて開くことができました。

セミナーは、京都府内企業の調査（アンケート回答約400社、訪問13社）全体についての分析報告と解説に始まり、人的販売、店舗・イベント、パブリシティ・広告、インターネット利用、海外展開の各分野についてそれぞれを専門とする調査・研究メンバーが解説しました。

売上が伸びている企業は販促活動の取り組み数が多く、公的支援の認知率、活用率が高いなどの分析結果を報告するとともに、経営者の営業活動の力や、販促活動を通じて顧客の共感を得るメッセージが伝えられることの大切さなどを前述の各分野ごと



の具体的な注意点や方法とともにお伝えしたセミナーでした。

アンケート調査・訪問調査に対して、貴重な情報とご意見を提供頂いた多くの府内中小企業の皆様、また、調査の準備に際しご協力頂いた京都商工会議所中小企業経営相談センター様をはじめとする、多方面の公的支援機関、組織、団体の皆様にあらためて御礼申し上げます。当調査・研究成果のご提供を今後とも充実させ、よりいっそう皆様のお役に立つよう努めて参ります。

調査・研究／セミナー講師 メンバー
山脇康彦・松井宏次・藤井健志・坂本 淳・足立早恵子

(松井宏次)

▶▶▶▶▶ 経営力ブラッシュアップ講座開催 ◀◀◀◀◀

平成24年1月21日(土)～3月3日(土)まで計5回シリーズでASTEM主催の経営力ブラッシュアップ講座に参画しました。本講座はASTEM前専務理事のご提案を受けて企画・立案し、理論の上に実務経験を加味した内容で、今さら他人には聞けない経営上の知識を習得して頂くことを主眼に置いて展開しました。

参加されていた受講生は、現経営者の後継を目指す方が多かったことが特徴で、事業承継に向けて意欲ある方がやる気だけでは承継出来ないこと

を理解し、参加されていたようです。経営の基礎理論の取得機会が我々の考えている以上に多くないことを改めて実感したところです。実際に講座が始まると、熱心な受講生が多く、講座を担当する我々講師陣にとってもいつも以上に熱の入る内容でした。各講座のタイトル・講師および受講生から頂いた主なご意見は以下の通りです。



経営力ブラッシュアップ講座(財団法人 京都高度技術研究所 主催)

回 月日	タイトル 受講生のご意見	講座
1回 1/21	経営・経営者編 「あるべき中小企業の経営者像とは…」 ・ワークシートによって、なんとなく進めていた事業の問題点や改善点が明確になってきました。 ・私は一人でやっているの理念やミッション等甘く考えておりましたが、事業の発展を考えておりますので、この機会にしっかり考えたいと思います。	山脇 康彦
2回 1/28	マーケティング・情報システム活用編 「生き残りをかけた中小企業のマーケティング理論」 「自社でも取り組める情報システムとは？」 ・我々営業に携わるものにとってマーケティングは大切なものです。本日学んだことを少しでもプラスに出ればと思います。 ・勉強になるワードもいくつかあり、話を聞きいろいろなヒントが生まれました。	松野 修典
3回 2/11	財務理論編 「中小企業の健全な財務とは？」 ・多くの資料の整理と時間配分を上手に講義され、分かりやすかったです。 ・具体的な例のお話もあったので、とても分かりやすかったです。	岡原 慶高
4回 2/18	財務実践編 「取引金融機関と仲良くするための会計処理」 ・CPAを目指していた時期があったのですが、机上で学んだことがより実践的に理解が深まりました。知識と実際の経営に活かす糸口がつかめたと思います。 ・今までいろいろな財務関係のセミナーを受けましたが、個別に相談にのっていただいているような、こちら側に立ったお話で、一番分かりやすかったです。	藤井 明登
5回 3/3	労務管理・人材育成編 —経営戦略としてのワークライフバランス 「従業員はたいせつな資源。ヒトが変われば、経営が変わる！」 ・10年以上前に山崎先生のご講演を聴講し、先生は変わらずまじめな姿勢でのご講義でした。著書も読ませていただきました。本日は資料も多くご提供いただき、ありがとうございました。 ・ワークライフバランスは、個人的にはとても必要だと思います。	山崎 忠夫 杉村麻記子

以上のように大変好評のうちに、全講座が終了しました。今後本講座のバージョンアップ版と併

せて積極的に拡販していきたいところです…!!担当講師の皆様大変お疲れ様でした。(藤井明登)

ひまわりの会より③

～香りを用いた空間デザイン～

－ 原始的な感覚「嗅覚」 －

外出先などで偶然出会った臭い（香り）がきっかけで、特定の場所や、過去の思い出の場面を思い浮かべたというような経験はないでしょうか。人間の五感には視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚といったものがありますが、嗅覚は特に、他の感覚と異なり、「原始的」「直接的」な感覚として位置付けられています。

なぜなら、脳への伝達経路を考えた場合、嗅覚は、視覚、聴覚、触覚、味覚の場合のように大脳新皮質による知的な解釈・判断を通さずに、原始的な本能や感情、記憶などを司る大脳辺縁系に「直結」しているからです。

－ 香りビジネス市場の拡大 －

近年、この嗅覚の「原始的な感覚」に訴える「香りビジネス」が広がり、その市場規模は1500億円とも2000億円とも言われています。栄養ドリンクの市場規模が2000億円と言われていることから見ても「香りビジネス」の市場の大きさがイメージできます。

「香りビジネス」には、植物の花、葉、果皮、樹皮、根、種子、樹脂などから抽出した精油を利用したアロマセラピーとしてのリラクゼーションサービス、精油（エッセンシャルオイル）や精油を拡散させ香りを空間に広げる機器であるディフューザーなどの関連グッズの販売といったものがあります。近年のリラクゼーションブームに乗り、市場が拡大していることもありますが、実は、企業が香りをブランド力の向上、販売促進、作業能力向上などに活用し始めていることが「香りビジネス」という言葉が生まれたきっかけでもあります。

－ 香りで空間をデザインする －

企業が香りを使ってブランド力の向上や販売促進に活用するとは実際にはどのようなことなのでしょう。従来から、新車を出荷する際に

はわざわざ新車独特の香りをスプレーでつけるなど、直接製品に香りをつける方法もありますが、近年増えているのは、「香りで空間をデザインする」というものです。ホテルやショールーム、店舗などで独自にブレンドした香りを用いた空間演出を行い、快適な空間の中で心地よいサービス体験を受けることで、顧客の経験価値を向上させ、ブランド力を向上させようとするもので、レクサスのショールーム、ANAのラウンジやファーストクラスの機内、品川駅の駅中商業施設のトイレなどが有名です。

－ 成分が作用する －

近年の空間演出が、従来からの演出と決定的に異なるところが、香水・香料などではなく、精油を活用しているところです。前述のとおり、精油とは、植物の花、葉、果皮、樹皮、根、種子、樹脂などから抽出したもので、精油成分が精神・身体に作用するものです。たとえば、ラベンダーは特に人気のある香りですが、単にいい香りであるというイメージの良さだけではないのです。ラベンダーには、酢酸リナリル、リナロールという成分が含まれており、鎮静効果とともに鎮痛や殺菌、血圧降下をもたらします。またティートリーという精油の場合、テルピネン-4-オールという高い抗菌作用を持つ成分を含んでおり、治療に長期間を要する爪の水虫の治癒にも効果があるとの報告もあります。含有成分が作用して具体的な効果をもたらす精油を活用し空間演出することで、直接吸入したり、マッサージで皮膚に擦りこむほどの強い効果はないにしても、感覚的にとどまらない具体的な効果を狙っていくことも可能です。香りを利用してブランド力の向上、販売促進、作業能力向上などを支援するビジネスも生まれています。売り場づくり、職場づくりも今後は、目に見えない香りの力を活用した取り組みが必要となってくるのかもしれませんが。（山本知美）

はんなり診断士



安田 徹
(やすだ とおる)

京都総合税理士法人 所長

- Q. 安田先生の専門分野をお聞かせください。
- A. 僕の得意技は、税理士と診断士の視点で「数字を見て経営に活かすことできる」ところ。PDCAのチェックは数字を見ることになる。マネジメントサイクルを回すには（税理士と診断士）両方の要素が必要でそれを踏まえた診断士は多くないと思いますよ。
- Q. 休日はどんなことをして過ごされますか？
- A. 毎週末は必ず孫と遊びますね。今日も遊んだけど、孫がプリキュアに変身して「プリキュアな何とか〜」といって攻撃をしてくるので、僕が悪者になっているんなパターンでやられてあげるの(笑)。それが一通り済んだらお絵かきをしたり、パソコンでプリキュアのページを見せたりしています。
- あと鴨川や御所にバードウォッチングに行きます。こないだは珍しい「青鳩」を見かけたね。みんなが雀かと思って何気なく見ている鳥でも、

双眼鏡でじっくり見るといろいろな鳥だったりしますよ。

- Q. 月並みですがご趣味は何ですか？
- A. 40年来の一番の趣味は山登りです。最近は古い町などへ1、2泊で遊びに行くことが多くなってきましたね。あと毎年初夏の頃に沖縄にシュノーケリングに行きます。ダイビングと違って、シュノーケリングは危険な場所を避ければ、自由に見ることができるので、わがままな僕に伺っているかなあ??と思います。(^^)
- Q. それでは最後に、最近のお気に入りをお聞かせください。
- A. 生活のパターンとなってきたのが、録画をしたビデオを夜に見ることかな。好きなのはやっぱり自然モノや心得のある囲碁の番組です。スポーツ観戦も…これからは野球をみます。
- まだまだ仕事为中心で、どのように自身の事業承継を考え進めようかと思ひ、昨年税理士法人にして増員もしました。これが順調に機能すれば、今年の誕生日で70歳になるので休日を1日増やし、週休3日にします。その過ごし方を考えるのが楽しみかな？
- しかし、まだまだやりたい仕事一杯で、引きたい自分と進みたい自分の葛藤です。



高見 啓一
(たかみ けいいち)

まちづくり中小企業診断士事務所

- 診断士になる前は滋賀県内の某市役所（地方上級）に5年間勤め早期退職。同世代の若者たちと起業し、各地の行政や公的団体の業務請負・アドバイザーなどをしていました。政治に近い仕事は魑魅魍魎の世界…未熟な私はさまざまな裏切りに遭い、会社を乗っ取られる体験もしました。「百の愚痴を吐くよりも 一の知識を吸うこと」をモットーとする私は、「これもひとつの転機♪」とTAC京都校の松田茂先生に師事し診断士を取得しました。
- 現在は資格と経歴を活かし、公共団体やソーシャルビジネス（社会的企業）のコンサルティングを行っています。各地の自治体関係者とのパイプを活かし、地域の行政や企業とタイアップしながら、若手士業が主体となったオリジナルな支援機関の立ち上げを進めているところです。ぜひ諸先輩方のお力添えをいただけたらと思っています。

日本初の「もんじゃ焼き診断士」

東京出身の私の得意技は、母親直伝の「もんじゃ

焼き」を取り入れたワークショップ。母の時代はもんじゃ焼きの専門店は少なく、駄菓子屋さんの一角に鉄板を置いて提供されるのが主流だったそうです。近年ではそういう業態は文化財級ですが、関西の「たこパー（たこ焼きパーティ）」しかり、「鉄板＝究極のコミュニケーションツール」であることは現代社会においても変わらぬ真理でしょう。

未経験者の多い関西で仕掛ければ、初対面でも仲良くなれて、会話が盛り上がります。「イベントやワークショップに取り入れたい」という方は、ぜひお声かけくださいね★

【超カンタン！ 高見流もんじゃ焼きの作り方】

- 用意するもの：鉄板（ホットプレート）・コテ・もんじゃへら・おわん
 - 材料：小麦粉・水・ウスターソース・キャベツ・天かす・ペビースターラーメン
※お好みでチーズ・もち・肉・魚介類などを入れても美味しいです（何でもアリ！）
 - 分量：「小麦粉：水」の割合は「1：3」以下。ほかはお好みでOK（各具材は少なめに）
 - 作り方：①おわんに上記の材料を全部入れて混ぜる
 - ②具材だけ（汁は入れない）を鉄板の上で炒める（コテで細かく刻みながら）
 - ③具材で円形の「土手」を作り、汁を流し込み、軽く混ぜながら焼く
 - ④焦げてきたところが食べごろ。鉄板から「こそげ取る」ように召し上がれ！
- ★ビールとの相性は最高です！「どんなもんじゃ？」と思うアナタも「レッツもんじゃ！」

平成23年度の支部会員交流会を開催

平成24年2月11日、毎年恒例の近年支部に入会された方を対象にした会員交流会が開催されました。今年は、14名の会員と支部長以下の5人の役員が出席し、交流を深めました。

交流会は、二部に分かれており、第一部は近年支部に入会された会員の方々への各種事業活動及び研究会活動等の支部活動の紹介が行われ、第二部では近年入会者の方と支部役員、研究会責任者が飲食を共にして語り合いました。

第一部は、四条烏丸の産業会館で山脇支部長の司会のもと午後1時より5時まで実施。自己紹介よりはじまり、支部事業・研究会の紹介、先輩診断士からのメッセージ、質疑応答・入会後の感想の順で和やかに説明、懇談が行われました。自己紹介では新入会員の方の様々な経歴、職業等の紹介があり、診断士の層の厚さを感じました。

その後、支部事業・研究会の紹介が行われ、現在の活動状況が参加したグループリーダー等より説明がなされました。近年入会者の方には京都支部で行われている支部活動の概要がわかる内容であり、初めて聞かれた方も多かったようです。引き続き、成岡常任理事より診断士会（組合）と支部の関係の説明、理事の松田より独立の心構え、足立早恵子会員より女性診断士の会である「ひまわりの会」の説明が行われました。

最後に、近年入会者の方から質疑応答、入会後の

感想等を聞く時間がありましたが、いろいろご意見、ご希望の中で2点のご希望を紹介します。

一つは、企業のお勤めの方から、土日での勉強会の開催をしてほしいとの要望がありました。

平日午後6時半開始の勉強会が多いですが、勤務地、勤務時間等で企業勤務者の場合は参加がむずかしいためのご希望です。

もう一つは、今回の会員交流会で説明された支部の事業、研究会の説明を、入会時にパンフレット等で説明いただけないかとの要望です。入会時点で京都支部がどのような活動をしているのか分かりにくく、交流会参加により全体像が理解できたと感じた方が多かったようです。

第二部は、産業会館の近隣の居酒屋で実施されました。仕事の都合で第二部のみ出席された理事や、マラソンの大会に出場後に出席された新入会員の方等、新たなメンバーも加え、多数の出席者の参加をいただき、お酒も入って大変盛り上がりしました。第一部で支部活動に関する貴重な情報交換ができ、第二部では杯をかたむけながら、楽しく歓談がすることで、多くの会員の方が顔の見えるネットワークを構築し、大変有意義な交流会となりました。

(松田 茂)



京都支部 会員数とその異動 (23年4月1日～24年3月31日)

	期首	期中増加	期中減少	期末
正会員	128人	17人	17人	128人
準会員・賛助会員	0人	人	人	0人
前期退会処分取消	1人			1人
合計	129人	17人	17人	129人

種別	増 加				減 少			
	入	転入	計	退	転出	計	退会	
正 会 員	上野哲生 梅原清 神林 壯 北村 佳 小澤 慶 高橋 佳 高辻 啓 古野 和 三宅 武 山野 裕 井 章	谷本幸洋 坂下 義 廣田 中 小計 4人	理美洋郎 美洋 郎 小計 13人	伊藤 新 犬丸 名 山 結 小 結 小 吉田 小 杉山 小 高橋 小 谷口 小 佐々木 小 野々木 小 加治 小 田中 小 伊東 小 天 久	一樹 司 樹 輔 之 太 勝 寛 覚 大 希 博 之 史 彦 彦 道 久 光 進	賢 司 大 輔 圭 太 小計 3人	計 17人	計 17人
	計	17人	計	17人				
	賛助 会 員	入会	退会					
計	17人	計	17人					

公益法人制度改革により、平成24年4月1日に一般社団法人京都府中小企業診断協会を設立しました。

編集後記

平成24年4月1日、社団法人中小企業診断協会京都支部は、一般社団法人京都府中小企業診断協会を設立し移行致しました。そのため、今号が京都支部としての活動を報告する最後の「診断京都」となります。通算99号。長い歴史を育てて来られた諸先輩方のご尽力に改めて感謝と敬意を表します。

そして、そんな諸先輩方の意思を受け継ぎ、今後もより一層有益な内容をお届けできるよう精進して行きたいと思っております。(編集担当一同)

京都支部の行事予定

- 5月26日(土) 通常総会
- 7月29日(日) 理論政策更新研修
- 10月6日(土) 理論政策更新研修

診断京都 No. 99

2012年4月発行

社団法人中小企業診断協会京都支部

〒600-8815 京都市下京区中堂寺南町134番地
京都リサーチパーク ASTEM棟301号室

TEL (075) 325-5731
FAX (075) 325-5675

メールアドレス info@shindan-kyoto.com
ホームページ http://www.shindan-kyoto.com/
印刷所 株大気堂 TEL (075) 361-2321
FAX (075) 361-5047